

# 赤十字NEWS

May 2012 Vol.864  
http://www.jrc.or.jp



編集・発行/日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL:03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は、社費に含まれています。



## 「赤十字運動月間」(5月1~31日) つむいできた人道支援 歴史を誇りに、一歩ずつ

天皇、皇后両陛下が4月18日、「昭憲皇太后と赤十字展」(明治神宮文化館)をご高覧になりました。明治天皇の皇后であった昭憲皇太后は、災害救護活動を日赤が始める際に、大きな役割を果たされています。以来、日赤は国内外の幅広い人道支援活動に取り組んできました。こうした活動は、皇室からの援助に加え、何よりも国民の皆さまからの活動資金に支えられています。5月はこの活動資金に協力する社員(会員)を募る「赤十字運動月間」。一人でも多くの皆さまの社員参加をお願いします。

### CONTENTS

#### TOPICS 2

赤十字運動月間  
活動資金募集中

「赤十字支援マーク」スタート

#### TOPICS 3

東日本大震災復興支援  
食品放射能測定器  
福島市などに寄贈

日本赤十字社総合福祉センター  
レクロス広尾オープン

常任理事会開催報告

#### SPECIAL 4 | 5

平時事業の歴史から振り返る  
「皇室と赤十字」

#### AREA NEWS 6 | 7

兵庫・栃木・大阪・静岡・東京

書籍紹介  
「しんちゃんのランドセル」

Voice & プレゼント

#### WORLD 8

スリランカ  
スマトラ島沖地震・津波災害  
復興支援事業終了

シリア  
ICRCと赤新月社が人道支援

「昭憲皇太后基金」  
第91回支援事業決定

### クローズアップひと



ミュージシャン  
デフ テック  
**Def Tech**

#### プラスの連鎖生み出したい

「音楽で人を幸せにできるのか?」「音楽で世界を変えられることができるのか?」。そう自分たちに問いかけながら、音楽と向き合っているという Def Tech の2人。5月から全国放映されている日本赤十字社のテレビCMに提供した楽曲についても、「聴いた人が、自分のフィールドで立ち上がっていく。そういう願いを込めて制作しました」と話します。

CMは、日赤救護班の活動をジュラルミンケースの目線で描いたもの。「映像を見て「カッコいい」と思いまし

た。実際の日赤職員の方々が登場していると聞いていますが、いきいきとした姿が頼もしく、価値ある活動だと感じました」

東日本大震災から1年余り。被災地ライブなどの取り組みを重ねてきました。「手探りでも一歩一歩前に進んでいけるよう、被災したり、心の問題を抱えたりしている方々に真摯に作品を届けていきたい。そのために僕たちができることは、自分たちの抱えた不安や頼りなささえも、曲の中で正直に吐露していくことだと思っています」

#### PROFILE

ShenとMicro,2人のユニット。ヴォーカルだけでなく作詞作曲・アレンジ・プロデュースも自ラ行い、新ジャンル「ジャワイアンレゲエ」を確立した。昨年10月発売のアルバム「UP」は、異例のロングセールスを記録中。今年3~4月、全国ツアー「UP」Japan Tour 2012を、4月18日には初のベスト「GREATEST HITS」をリリース。

# 赤十字運動月間

## 活動資金募集中 一人ひとりの善意が 私たちのパワーです

5月は「赤十字運動月間」。日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ためのさまざまな活動をより力強く展開していくため、資金面から日赤の活動を支える「社員」への参加を広く呼びかけています。一人でも多くの皆さまの社員参加をお願いします。

員、法人社員ともに減少傾向です。安定した財源の確保に向け、社員増強は必須の課題となっております。

た義援金の受付などの諸経費も、この資金協力があればこそ。国際救済活動、救急法などの講習普及事業、赤十字ボランティアの活動や地域福祉活動の推進など、さまざまな活動に役立てられています。

### 500円で あなたも 社員(会員)に

日本赤十字社では、赤十字の理念と活動に賛同し、毎年継続して年間500円以上の資金協力をお寄せいただく方を「社員」(会員)と

規定しています。年齢や職業に関係なく、また個人・法人を問わず、どなたでも社員になることができます。

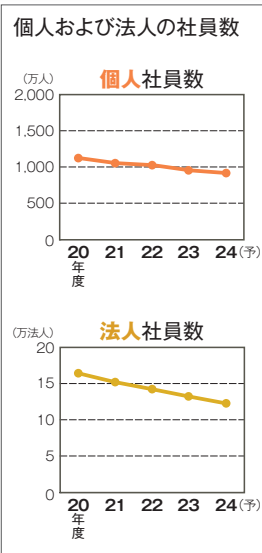
東日本大震災の発生後、一部に社資収入の増加が見られました。しかし、左下の図のように中長期的には個人社

員から寄せられた資金は、一般の方からの寄付金とともに日赤の活動資金となり、国内外での人道支援活動を支援しています。



### 寄付が支える 人道支援活動と 義援金配分

個人および法人の社員数



人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

これから命を救う活動を続けていくために、みなさまからの活動資金が必要です。

- 赤十字広報大使 藤原紀香 活動レポート
- 日本赤十字社 各事業紹介
- 東日本大震災 日本赤十字社の活動報告

社員に  
参加したい  
詳しくはこちら

寄付をしたい  
詳しくはこちら

●日本赤十字社の活動について  
●活動財源について  
●事業体制のご紹介  
●CM情報

赤十字の活動を資金で支える「社員」にご加入ください。毎年500円以上の資金協力でご加入いただけます。

▲ 特設サイト <http://jrc.norika.jp>

### 「苦しんでいる人を救いたい」

#### —— 戦場から生まれた赤十字思想

「戦場の負傷者は敵味方の区別なく救護すべきだ」という赤十字思想は、スイス人実業家のアンリー・デュナン(1828-1910年)によって実践・提唱されたもの。1859年のイタリア・ソルフェリーノで、デュナンが悲惨な戦場を目撃し、自ら救護に立ち上がったことがそのきっかけでした。

デュナンは、1901年に第1回ノーベル平和賞を受賞。そして赤十字はいま、187の国と地域で活動する世界最大の人道機関に成長しました。

「赤十字運動月間」は、赤十字思想の生みの親であるデュナンの誕生日(5月8日)と、日赤の創立記念日(5月1日)に合わせ、毎年5月に実施されています。

### ご存じですか?

#### 国際法で攻撃禁止を規定

##### 戦場での「いのちの砦」—— 赤十字マーク

「病院や医療の象徴＝赤十字マーク」と思っている人は少なくありませんが、実は大きな誤り。「赤十字マーク」の本来的な意味は、軍の衛生部隊や赤十字救護員などを攻撃から守るための目印。人道が危機に直面する戦場などで、いのちを守る砦としての役割を担っているのです。

ジュネーブ条約は、「赤十字」を掲げる要員や施設への攻撃を禁止。赤十字マークの使用についても、同条約や国内法で厳格に定められています。赤十字マークに関する間違っただけでなく、戦場での救護活動に支障を来しかねないからです。日本で赤十字マークを使用できるのは、平時は日本赤十字社の施設と自衛隊の衛生部隊などに限定されていて、一般の病院や医薬品などがこれを掲げることは法律で禁止されています。

赤十字マークには次の3つがあります



#### 法人・団体とのコラボに活用

##### 「赤十字支援マーク」4月からスタート

日本赤十字社は、日赤のシンボルマークをデザインした「赤十字支援マーク」を4月1日に新たに制定しました。今後、日赤の活動に協力する法人や団体に同マークの使用を広くしていく予定です。

毎年、多くの法人・団体が日赤の人道支援活動に賛同し、資金協力などを行っています。そうした協力の事実を示すため、広告媒体などに赤十字マークの使用を希望する事例が増えています。

「赤十字支援マーク」の制定は、このようなケースに対応していくのが目的。赤十字マークの乱用防止にもつながると期待されています。使用にあたっては、日赤との間で「覚書」を交わすことにしています。

赤十字支援マークの一例



### 資金協力の方法 日赤を資金面から支える2つの方法をご紹介します。

#### 社員にご参加いただくには

多くの地域では戸別訪問など町内会・奉仕団にご協力いただいておりますが、直接手続きができる方法をご紹介します。

##### 各都道府県支部や各市町村の赤十字窓口で

各都道府県支部、各市町村の赤十字窓口で現金500円以上を添えてお申し込みください。



##### 口座振替による加入

日赤ホームページからダウンロードした「社員加入申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記までご送付ください。なお、口座振替での資金協力は1回2000円以上でお願いしています。

〒105-8521  
東京都港区芝大門1-1-3  
日本赤十字社 組織推進部  
加入申込係

##### 銀行振り込み／郵便口座

各窓口へ備え付けの振込用紙、振替用紙に日赤の口座番号などをご記入のうえ、お振り込みください。



### ご寄付の受付

#### 楽天銀行／クレジットカード／コンビニエンスストアで

日赤のホームページ上で寄付の申し込みを受け付けています。

#### ファミリーマートのタッチパネルで

情報端末「Famiポート」では、タッチパネルで日赤への募金を選ぶだけで、簡単に寄付ができます。



「Famiポート」とタッチパネル画面

#### クリック募金

株式会社メディネットが運営するウェブサイト「smileCLOVER」では、サイト上の募金ボタンをクリックするだけで、日赤へ寄付できます。



「smileCLOVER」のサイト

#### ポイント募金

買い物時にポイントカードなどを提示して付与される各種ポイントを、日赤への寄付として利用いただけます。



#### 寄付に利用できるポイントカード

- Ok!Doki ポイントプログラム (株式会社ジェーシービー)
- Tポイント (カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)
- DCハッピープレゼント (三菱UFJニコス株式会社)
- サンクスマイル (日本生命保険相互会社)

- 三菱東京UFJポイント (株式会社三菱東京UFJ銀行)
- Yahoo!ポランディア (ヤフー株式会社)
- Honda Cカード (本田技研工業株式会社)
- 赤十字オリコカード (株式会社オリエントコーポレーション)

詳しくは、日赤ホームページ (<http://www.jrc.or.jp>)、右記担当窓口へ 日本赤十字社 組織推進部 TEL:03-3437-7081 ナビダイヤルでお近くの日赤支部へつながります。ナビダイヤル:0570-009595

東日本大震災  
復興支援

# 市民の放射能不安軽減に活かされています 食品放射能測定器 福島市などに109台寄贈

福島第一原発の事故から1年以上が経過した今も、農作物や水など飲食物の放射能汚染を心配する消費者の声は後を絶ちません。こうした事態に日本赤十字社は、食品放射能測定器109台を福島市や二本松市などへ寄贈。測定機器は市役所の支所などに配備され、市民から持ち込まれた食品の検査に活用しています。

福島市への食品放射能測定器の寄贈は、同市からの要望を受けたもの。食材の放射能検査を市民の希望に沿ってきめ細かく行うことにより、不安を少しでも緩和していくことが目的です。

4月までに計3台の検査機器が配備された福島市役所の西支所では、2月下旬から市民が持ち込んだ食品の検査を実施しています。当初、検査の受付枠は1日10件まででしたが、検査機器が3台に増えた4月からは30件に拡大。給食など調理済みの食品検査も始めています。

同支所の鳴原一雄支所長は「これまででは市のモニタリングセンターでの検査だけだったため、予約がなかなか取れず、また調理済み食品の検査もできなかった。そうした問題を解消できるのがありがたい」と喜びます。

測定結果は翌日着で郵送されますが、数値が20ベクレル以上だった場合は(4月より飲料水の基準値は10ベクレル以上に変更)、市のモニタリングセンターでの再検査が行われます。4月9日の時点で、しいたけなど4点が再検査に回されました。

4月末までに日赤が寄贈した食品放射能測定器は、福島市への65台のほか、二本松市と川内村に計29台、宮城県に3台となっています。福島市には5月中旬に追加で12台が寄贈される予定です。

本事業は、各国の赤十字社などから日赤に寄せられた海外救援金を財源に行われたもの。国内外の皆さまからの義援金は被災自治体を通じて全額が被災者に届けられています。

世界からの善意を活かし



検査は予約制で、1回の申し込みにつき1世帯1品目



福島市では給食に使われている一部の食材の放射能検査を昨年11月から実施してきましが、4月からは検査対象を全食材に拡大して実施しています

## 厳しくなった「新基準値」

食品中の放射性物質の基準値が4月1日から新しくなり、これまでの暫定基準値に比べて許容される放射線量が大幅に厳格化されました。新基準値では、穀類や野菜、肉、魚などの一般食品の上限レベルは1キログラムあたり100ベクレルと従来の5分の1に。牛乳や乳児用食品の上限レベルは50ベクレル。飲料水はとりわけ厳しく、従来の2000ベクレルが10ベクレルと20分の1の水準にまで引き下げられました。



屋上には季節の草花が咲く庭園もあります

日本赤十字社が広尾地区再整備事業の一環として進めてきた「日本赤十字社総合福祉センター」(愛称・レクロス広尾、東京都渋谷区)が、今春4月にオープンしました。日赤が設置する初の複合型福祉施設です。

少子高齢社会が進行していく中、特に東京などの都市部では介護保健施設の不足が深刻化しています。日赤がこうした課題に取り組む上での拠点となる施設が、レクロス広尾です。同じ敷地にある日赤医療センターや日赤看護大学と連携しながら、福祉、保健、医療、看護の総合的なサービスを提供していきます。

常時介護を必要とする方のための特別養護老人ホーム(定員110人)、在宅生活への復帰を目指す介護老人保健施設(同100人)、認知症と診断された方々が共同生活を営む高齢者グループホーム(同18人)、身体に障害のある方の生活をサポートする障害者支援施設(同10人)があり、このほかショートステイやデイサービスも展開しています。

レクロス広尾には、日赤が全国で運営している社会福祉施設(29施設)の基幹センターとしての役割もあります。個人の生活を大切にする個室制や、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活をする「ユニットケア」などは、日赤の施設としては初めての試み。こうした取り組みで得られた成果は、今後研修や人事交流などを通して、全国の日赤の施設で活かされることになり

また、「地域に開かれた施設」も目指します。近隣にある福祉施設と情報を共有し、災害時には避難場所として住民に開放するほか、赤十字ボランティアの活動、青少年赤十字の児童・生徒らの体験学習、看護大学からの実習生の受け入れなど、地域への貢献

後藤淳郎所長は「利用者やその家族の方々に、少しでも貢献できるような施設にすることが目標。職員のモチベーションは高いので、みんなで協力して努力していきます」と強調。日赤医療センターなどの連携についても、「社会福祉と医療の間がスムーズにつながるような体制をつくるのが理想です。レクロス広尾の取り組みがそのモデルケースになるといいですね」と語っています。

後藤淳郎所長は「利用者やその家族の方々に、少しでも貢献できるような施設にすることが目標。職員のモチベーションは高いので、みんなで協力して努力していきます」と強調。日赤医療センターなどの連携についても、「社会福祉と医療の間がスムーズにつながるような体制をつくるのが理想です。レクロス広尾の取り組みがそのモデルケースになるといいですね」と語っています。

平成24年4月20日、本社において平成24年度第1回の常任理事会が開催されました。審議結果は左記のとおりです。

記  
付議事項  
1 理事会に付議する事項

3月29日、昭憲皇太后基金創設百周年特別募金にあたり、天皇皇后両陛下から昭憲皇太后基金管理合同委員会に金一封を賜りました。

この御下賜金は基金に加えられ、世界各地で災害、感染症などに苦しむ人々への支援や福祉の増進、防災や病気の予防などの活動に使用されます。

天皇皇后両陛下から御下賜金

平成24年4月20日、本社において平成24年度第1回の常任理事会が開催されました。審議の結果、原案のとおり理事会に付議することについて了承されました。

また、予算の補正にかかると、3月分の社長専決事項の決定状況について報告しました。

### たくさんの笑顔に出会える場所

利用者の方にお話を伺いました

高齢者グループホームに入居する  
**石井 須磨子さん**  
(88歳)

もともと近隣にお住まいでした。愛用の家具を持ち込み、自宅のようにくつろげる空間をつくっています。「家の近くの施設で、自宅のように暮らせるのは、とても幸せなことです。近くに住む娘も毎日のように来てくれるんですよ」

介護老人保健施設に入居する  
**神崎 三千子さん**  
(91歳)

隣接する日赤医療センターでの入院経験やお孫さんの誕生などを通して、日赤には特に親しみがあるといいます。「日赤の施設には、なんといっても安心感がありますね。丁寧に介護をしてもらって、本当にうれしいです」

障害者支援施設に入居する  
**小儀 裕昭さん**  
(42歳)

大相撲の高見盛関のファンで、白い紙に描かれた力士の姿に塗り絵をするのが大好きです。「お風呂も楽しいし、食事もおいしい。友達もできました」と、レクロス広尾での生活について語ります。

特別養護老人ホームに入居する  
**加藤 澄子さん**  
(84歳)

広くて開放的な共同スペースで過ごすのも好きだという加藤さん。「スタッフの皆さんが親切で、ここなら安心して暮らしていけそうです。早く友達をつくって、いろいろ楽しみたいです」

特集

日本赤十字社は創立以来、皇室との密接な関係の下、その歩みを積み重ねてきました。日赤のお家芸ともいえる災害救護を世界に先駆けて取り組むにあたって、明治天皇の皇后である昭憲皇太后が大きな役割を果たしています。折しも今年は「昭憲皇太后基金」が創設されて100周年。昭憲皇太后が力を注がれた災害救護に焦点を当てながら、皇室と赤十字の関係を振り返ってみました。

# 平時事業の歴史から振り返る「皇室と赤十字」

## 切り開いた災害救護への道

福島県の猪苗代湖の北にそびえる磐梯山が噴火したのは、明治21(1888)年7月15日。水蒸気爆発で山頂部分が吹き飛び、死傷者500人を超える大惨事となりました。

甚大な被害に心を痛めた昭憲皇太后は、医師派遣を日赤に指示。日赤は医師3人を派遣することを決定しました。

上野駅から郡山駅まで列車で8時間。郡山駅周辺は混乱の最中にあり、医薬品などを運ぶ荷車を探すのにさらに2時間を要したといいます。山中で一泊しながら被災地へ到着した3人は地元猪苗代町の医師とともに日夜の別なく救護活動を展開しました。「戦時救護」が赤十字の主要任務とされていた時代において、磐梯山での救護活動は、赤十字の平時事業の先駆けとなるものでした。



磐梯山噴火の被災者救護費として昭憲皇太后から金200円が下賜されました

### 養成看護婦を救護班として初派遣

日赤が看護婦教育を始めたのは明治23(1890)年。そこで養

成された看護婦の初の災害救護派遣に際しても、昭憲皇太后はその意思を示されました。

明治24年10月に濃尾地方(岐阜県と愛知県)を襲った濃尾地震は死者7000人を超える大災害に。県知事からの派遣要請を受けた初代社長の佐野常民が参内しその旨を報告すると、昭憲皇太后は「手厚く救護するように」と医師・看護婦の派遣を命じられました。各県支部からの救護班に加え、養成を終えたばかりの10人の看護婦が、1カ月余りにわたって被災者救護に当たりました。

こうした活動を踏まえ、日赤は翌年の明治25年、社業に「天災救護」を追加することになったのです。明治29年の三陸大津波に際しても、被災者救護に取り組んでいます。

### 関東大震災では日赤救護所を慰問

大正12(1923)年の関東大震災は、死者・行方不明者が10万人を超える未曾有の大災害となりました。日赤は全国から

4600人余りの救護員を動員し、各所に救護所を設置。被災者救護に当たりました。

大正天皇の皇后・貞明皇后はこうした事態に、日赤へ出向いて社長や病院長らを激励。病院や救護所、乳児院などへもたびたび慰問に訪れ、被災者を見舞いました。



関東大震災の救護所を慰問される貞明皇后

### 「看護」のイメージアップに貢献した

#### 篤志看護婦人会

赤十字ボランティアの先駆けとなる篤志看護婦人会は明治20(1887)年に結成。有栖川宮妃殿下を幹事長に、当初は皇族・華族の女性を中心に構成されていました。

日赤が看護婦養成教育を始める3年前に、篤志看護婦人会がつけられたのには理由があります。当時は、人の身体を拭いたり、汚物処理を担う「看護」は、賤業(いやしい職業)扱い。皇族、華族が名を連ねる同会には、こうした世間の意識を変える役割があったといわれています。

篤志看護婦人会では、包帯の巻き方や衛生知識を会員に普及。最盛期の会員は3万人に達しました。

#### 新島八重もその一

来年放送予定のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公・新島八重も篤志看護婦人会の一員でした。同志社大学を創立した新島襄の妻、八重は夫の死後、日赤社員となり、日清、日露戦争の際には傷病兵の救護に奔走。篤志看護婦人会の看護学修業証を得て、看護学校の助教まで務めました。

## 黎明期の日赤を支えた御下賜金

明治10(1877)年、日赤の前身である博愛社が設立された当時の社員はわずか38人。この黎明期に財政面から日赤を支えたのが皇室でした。

同年8月、皇室は博愛社の結成を「奇特なこと」として金1000円を寄付。昭憲皇太后は明治16年、毎年300円のお手許金を贈ることを決められています。

博愛社が「日本赤十字社」へと名称を改めた明治20年には、両陛下からの「御下賜金」として毎年5000円を補助することを宮内庁が決定。これにより日赤の財政基盤が確立します。

### 日赤医療センターへと引き継がれる歴史

救護員の養成機関として明治19年に博愛社病院(現・日赤医療センター)を設立した際には、昭憲皇太后が開院式にご臨席。その後の病院移転にあたっては、建設費用10万円と土地が贈られています。

この土地は、現在も日赤医療センター



現在の日赤医療センターの全景

### 社紋「桐竹鳳凰赤十字」について

明治20(1887)年、博愛社から日本赤十字社に改称するにあたって創定された社紋「桐竹鳳凰赤十字」。そのデザインは、初代社長となる佐野常民が昭憲皇太后に拝謁した折、かんざしに描かれていた模様を賜り、それを基につくられたと伝えられています。



桐竹鳳凰赤十字の紋章

ターと赤十字看護大学、複合型福祉施設「レクロス広尾」の敷地として、日赤の医療・看護・福祉事業の中心を支えています。

## 半世紀にわたり続けられた日常の奉仕活動

一昨年暮れまで日赤本社に設けられていた「裁縫奉仕室」。現在の日赤名誉総裁である皇后陛下、名誉副総裁の各妃殿下もここに足を運ばれ、奉仕団と一緒に縫製作業に参加されてきました。この活動のきっかけとなったのが昭和34(1959)年の伊勢湾台風でした。

### 「肌着が足りない」と始められた裁縫奉仕

紀伊半島から東海地方を中心に死者・行方不明者5000人余りという被害をもたらした伊勢湾台風。日赤は延べ626班の救護班を派遣しました。

救援物資も送られましたが、乳児用肌着はそこに含まれていません。そうした中、被災者が乳児用肌着の不足に困っていることを知った高松宮殿下の発案により、裁縫奉仕室が日赤内に設置されることになったのです。

伊勢湾台風の救護活動の後も、日赤の乳児院や海外の紛争で被害を受けた子どもたちのための裁縫奉仕活動が続けられました。現皇后や各妃殿下も頻りにここを訪れ、ミシンで乳幼児肌着などをおつくりになりました。

こうした皇族の皆さまの奉仕活動は、手狭になった本社の改装により裁縫奉仕室が撤去されるまでの約半世紀にわたり続けられてきました。



並べられたミシンで縫製作業を行った裁縫奉仕室

日本赤十字社の名誉総裁・名誉副総裁  
皇太后陛下  
皇太子殿下・同妃殿下  
常陸宮殿下・同妃殿下  
三笠宮殿下・同妃殿下  
高田宮妃殿下  
秋篠宮妃殿下  
寛仁親王妃殿下  
(平成24年5月1日現在)

### 5月28日まで開催中

#### 「昭憲皇太后と赤十字展」 明治神宮文化館(東京都渋谷区)

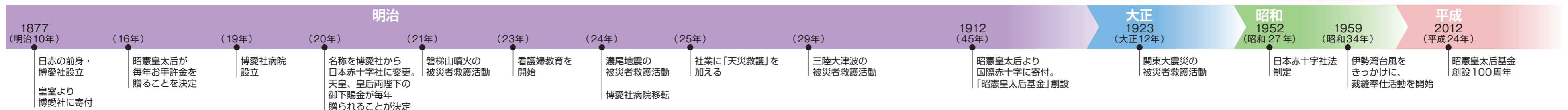
明治45(1912)年、昭憲皇太后が「平時事業のために」と国際赤十字へ寄付された10万円(現在の3億5000万円相当)を基に創設された「昭憲皇太后基金」は、世界各国の災害対策や保健衛生事業などを支えてきました。現在、基金創設100周年を記念した「昭憲皇太后と赤十字展」を開催中です。



率先して洋装を取り入れた昭憲皇太后は、宮中の生活でもそれを通して(明治神宮所蔵)



昭憲皇太后は明治21年の第2回赤十字総会以来、毎年総会に臨席され、お言葉述べられた(湯浅一郎・聖徳記念絵画館所蔵)





いちむじんの宇高さん(左)と山下さん

### ギターが奏でる復興応援の音色 「いちむじん」の2人が献血ルームでミニライブ

大阪府 2012.3.11

東日本大震災発生から1年となる3月11日、御堂筋献血ルーム「CROSS CAFÉ」で、クラシックギターデュオの「いちむじん」を招いて復興応援イベントが開催されました。高知県出身の宇高靖人さんと山下俊輔さんの2人で平成16年に結成されたいちむじん。東京を拠点に全国でコンサートやイベント出演など音楽活動を展開しています。表現力豊かな演奏は高く評価され、TVドラマや映画、CMの挿入曲として使われる楽曲も数多くあります。

東日本大震災の後、2人は各地での復興応援イベントの開催や支援物資の提供など、積極的に支援活動に協力。御堂筋献血ルーム「CROSS CAFÉ」でのイベント出演も、こうした活動の一環として実現したものです。

ライブが始まると、イベント広場は心地よいギターの音色に包まれました。演奏曲は、NHK大河ドラマ『龍馬伝』紀行のテーマ曲をはじめ、「五十鈴川」や「紫陽花」など。来場者からは「心が癒やされて落ち着きました」などの感想が寄せられました。いちむじんの山下さんは「大阪をはじめ西日本から東日本に元気を届けましょう。私たちも音楽を通じて被災地を応援し続けます」と力強く呼びかけました。

### 災害時の空の救援隊 17機で集合訓練を実施

静岡県 2012.3.25

赤十字飛行隊が3月25日、富士川場外離着陸場(静岡市清水区)で集合訓練を実施しました。昭和38年に結成された同飛行隊は、小型航空機を利用して災害時の情報収集や山岳パトロール、血液輸送などのボランティア活動を行っている特殊赤十字奉仕団。現在、全国に42の支隊を抱えています。

今回の訓練には、県内の富士川支隊、三保支隊をはじめ、栃木、群馬などの9支隊から自家用小型機やヘリコプター17機が参加。強風に見舞われる厳しいコンディションでしたが、着陸不能な災害現場への情報伝達手段として通信筒を投下する訓練や、医薬品などの物資輸送、基地着陸訓練などを行いました。



赤十字飛行隊は、医薬品の空輸などで活躍

### 患者コーラスグループ 結成10周年記念コンサート開催

東京都 2012.3.10

武蔵野赤十字病院の患者さんでつくるコーラスグループ「ドリーム」が3月10日、三鷹市芸術文化センター「風のホール」で東日本大震災復興支援チャリティイベントとして、結成10周年記念コンサートを開催しました。

ドリームは平成15年3月、「病院内にも患者さんの笑顔を取り戻せる憩いの場を」との願いから誕生。メンバーの中には末期がんと診断され、抗がん剤治療を続けながら練習に参加する方もいます。

コンサートでは、震災パネルの展示と入場者への義援金の呼びかけも行われ、12万円余りが寄せられました。



メンバーの生きがいになっているコーラス活動



足利赤十字病院のフェイスさん(左)と姫路赤十字病院のサルティカさん

### インドネシアとフィリピンからの EPA看護師候補生2人が看護師国家試験合格

栃木県・兵庫県 2012.3.26

日本とインドネシア・フィリピンとの経済連携協定(EPA)に基づき来日し、日赤の病院で受け入れてきた2人の外国人看護助手が3月26日、第101回看護師国家試験で合格を果たしました。

1人は、第2次フィリピン人看護候補生として足利赤十字病院が受け入れたフェイス・マリー・マニアゴ・ムナルさんです。平成22年10月から同院で看護助手として働くフェイスさんは、試験の合格を目指して、毎日夜遅くまで勉強。「期待に応えることは大変でしたが、今は合格できてとてもよかったと思います」と顔をほころばせました。

もう1人の合格者は、姫路赤十字病院のインドネシア人看護候補生、サルティカ・シダプタールさんです。ジャカルタ市の病院で、看護師として10年以上のキャリアを持つサルティカさんは平成20年来日。同院で看護助手として働きながら試験を受けてきましたが、規定の3年以内に合格できず、滞在延長をして臨んだ今回の4度目の試験で念願をかなえました。「母国にいる夫と2人の娘のことを考えると不安で帰国も考えましたが、病院の仲間の励ましのおかげで頑張ることができました」と喜びを語っています。



東日本大震災の被災地で、がれき撤去などのボランティア活動も行ってきた学悠館高校青少年赤十字部

### 学悠館高校青少年赤十字部が消防庁長官賞受賞 地域と連携した防災活動を評価

栃木県 2012.3.19

栃木県立学悠館高校の青少年赤十字(JRC)部が、このほど「第16回防災まちづくり大賞」(主催:消防科学総合センターなど)で消防庁長官賞を受賞しました。取り組んできた防災活動が高く評価されたものです。

栃木市の災害時避難場所に指定されている同校。「実際に避難所になったとき、自分たちに何ができるのか」と考えたJRC部員の発案により、救急法や災害時高齢者生活支援講習の受講、日赤本社見学、東京消防庁の見学などを通じた、防災知識と技術の習得に力を入れてきました。当初は校内だけの活動でしたが、平成21年からは地域住民を招いた防災講座を開くなど、地域との連携にも目を向けてきました。

こうした取り組みが活かされたのが昨年3月11日の東日本大震災でした。避難場所として開放された同校で、150人の帰宅難民者を受け入れたのです。JRC部のOB部員たちも同校に駆け付け、これまで得てきた知識と技術を活かした活動を行いました。

部長の平塚菜月さんは「賞をいただいて終わりではなく、今後も自信を持って活動を続けたい」と意欲を見せています。

# 書籍紹介

## 売上げの10%が震災義援金に『しんちゃんのランドセル』が完成

「震災の被害や子どもたちの頑張り、地域の絆を語り継いでほしい」——そうした願いが込められた絵本『しんちゃんのランドセル』が完成しました。世界赤十字デーの5月8日から発売されます。

新潟県支部では「東日本大震災復興支援 With You プロジェクト」の一環として昨年12月、地元出版社や新潟県出身の絵本作家・エイキ ミナコさんと一緒に、宮城県南三陸町の保育所を訪問。震災に遭った子どもたち取材しました。絵本はこのときの取材をもとに作成されたものです。



「しんちゃんのランドセル」(定価1000円(税込))の売上げの10%が義援金として被災地に送られる。  
●ご注文・お問い合わせは株式会社第一印刷所(☎025-283-6222)まで

# 日本赤十字社は 義援金を100%被災地にお届けしています。

手数料などは、一切いただいておりません。

被災地での復興支援活動をはじめとする、日本赤十字社の人道支援活動は、国民の皆さまからの赤十字活動資金によって支えられております。

日本赤十字社 人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

AKB48と一緒に もっとよく知る 赤十字!

私たちと、日本赤十字社の活動を学びましょう。

くわしくはWEBで 赤十字検定 検索 www.jrc.or.jp 「日本赤十字社×AKB48」スペシャルコンテンツ AKB48からの メッセージ動画公開中!

# Voice & プレゼント

**Voice** 本紙に寄せられた読者の声をご紹介します!

### JRC 部卒業の次男のこれからの期待

——久保 由美子さん(大分県宇佐市)

次男が高校を卒業しました。3年間、JRCで活動を続けました。持病があって献血はできませんが、これからも献血に代わる活動に関心を持ってほしいと思います。私は仕事があるため被災地には行けませんが、おつり募金を続けています。

### プレゼント

本紙1面「クローズアップひと」コーナーで紹介している Def Tech の特製湯のみを5名様にプレゼントします。以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。



- ①お名前(匿名をご希望の方は、その旨をご記入ください)
- ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
- ⑤赤十字新聞5月号を手にされた場所(例/献血ルーム)
- ⑥赤十字新聞へのご意見・ご感想や、扱ってほしいテーマなど

応募先 ● 郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3  
日本赤十字社 企画広報室 赤十字新聞5月号プレゼント係  
FAX/03-3432-5507  
メール/koho@jrc.or.jp(件名「赤十字新聞5月号プレゼント係」)

応募締切 ● 5月28日(月)必着  
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

## 日赤所蔵アート展閉幕 全観覧料を義援金に

東京都 2012.3.29

1月7日から2月19日まで損保ジャパン東郷青児美術館(東京都新宿区)で「日本赤十字社所蔵アート展 東郷青児、梅原龍三郎からピカソまで—復興への想いをひとつにして—」が開催されました。期間中1万8000人余りが来館。その全観覧料355万5570円が3月29日、東日本大震災の義援金として日赤に寄せられました。



義援金を日赤に手渡す損保ジャパン美術財団の佐藤正敏理事長(右)

同展では、東郷画伯の「ナース像」をはじめ、日赤にこれまで寄贈された美術品約60点が展示されるとともに、日赤の理念や成り立ち、東日本大震災における救護活動なども紹介されました。

## 赤十字救急法の動画 ネットで公開スタート

全国



動画再生時間は約15分。日赤のホームページからリンクされています。URLはhttp://www.jrc.or.jp/study/safety/

いざというときに、いのちを救えるかどうかは、家族や周りの人の手当の有無に大きく左右されます。日本赤十字社は、そうした際に役立つ救急法などの普及に取り組んで

いますが、中でも特に重要な心肺蘇生とAED(自動体外式除細動器)の使用方法を解説した動画を、インターネットで一般公開しました。

救急法の動画はこれまでDVDに収められ、講習受講者のみに配付されてきました。今回のネット公開は、より多くの方に救急法を学ぶ機会を提供し、国内の救命率向上につなげていこうというもの。救急法などの講習受講を促す効果も期待されています。



レスキュー隊員も参加した餅つき大会。レスキュー隊員は園児の憧れです

## 児童福祉週間 子どもたちの「ニコニコ」を応援

全国 2012.5.5~11

子どもたちの健やかな成長について国民全体で考える「児童福祉週間」(主唱:厚生労働省など、協力:日本赤十字社ほか)が、5月5日から1週間の日程で始まります。

今年の標語は、「ニコニコは『なかよくしよう』のあいすだよ」。埼玉県 堀山喜史さん(7歳)の作品です。日赤には29の社会福祉施設があり、核家族化に伴って孤立化する子育ての状況などを踏まえながら、各施設で子どもたちの「ニコニコ」を増やしていくさまざまな活動を行っています。

日赤釧路さかえ保育園(北海道)では、地元の消防署と年間を通じて交流。園での消防訓練には消防車が出動するほか、年末の餅つき大会にはレスキュー隊員が参加。また、千葉県支部内の義肢製作所は昨年夏、小中学生対象の福祉体験学習会に協力。義足装着による歩行体験などを行いました。



facebookに日赤公式ホームページができました。東日本大震災での取り組みをはじめ、とっさの手当や献血のこと、国内外の活動現場の写真など赤十字ならではの最新情報を発信していきますので、ぜひご覧ください!  
http://www.facebook.com/japaneseredcross



スリランカ

スマトラ島沖地震・津波災害復興支援

北部の紛争避難民向け住宅再建・生計支援事業が終了

「日本の皆さん、支援をありがとう」。スマトラ島沖地震・津波災害(2004年12月)によって大きな被害を受けたスリランカで、日本赤十字社が最後の復興支援事業として取り組んできた北部の紛争避難民への支援が今年3月、終了しました。このほど帰国した北村幸美駐在員に事業の成果を聞きました。

スリランカでは津波の発災直後から、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の調整の下で、さまざまな支援が実施されました。しかし北部地域では、国軍と武装勢力の間で四半世紀近くも紛争が続いていたため、国際社会からの十分な支援を受けられず、加えて戦闘の激化によって津波の被害を受けた多数の住民が国内各地で避難生活を強いられました。

2009年5月の紛争終結を受けて、スリランカ赤十字社と国際赤十字、各国赤十字社は紛争避難民約2500世帯を対象にした住宅建設支援を開始。発災以来、さまざまな復興支援を行ってきた日赤も、このうちの240世帯の支援に着手しました。

建設は、住民が資金を段階的に受け取りながら主体となって家を再建する受益者主導型で進められました。この方法は1戸当たりの建設コストが安く済むため、限られた資金で多くの住民を支援することができ、そこに住む人の家族構成や思いを反映

させた造りにすることができるというメリットがあります。

「建設資材の高騰などのため、1戸当たり約21万円という当初の支援額では家を建てるのが困難な状況もありましたが、現地スタッフが住民の抱える問題の相談に乗ったり励ましたりしながら、必要なサポートを行ってきました」。その後、建設支援額を増やすとともに、より良い生計手段を得るための資金を支援。住民は牛や肥料、ポンプなどを購入し、生活再建に向けて着実に歩みを進めています。

日本からの支援が現地で開花

紛争終結から3年が経過しても、国内の避難民キャンプで暮らす人や、まだ家がない住民が多数いるのも現実です。「いまだに16万世帯が自分の家を持つことができないといいます」と北村要員。

住民やスタッフからは、日本からの支援に対する感謝の言葉とともに、地元の人たち



住宅再建支援で建てられた家

による助け合いを促しつつ、今後のさらなる支援を要望する声も聞かれます。

日赤がスリランカ各地で実施してきた復興支援事業の中でも、津波被害を受けたガンパハ県での水上安全法普及事業は、地元で根付き、大きな力を発揮しています。地区の赤十字支部に日赤が指導員を派遣し、職員やボランティアに水上安全法の知識や技術を伝えてきました。

「多くの人のいのちを救っているだけでな



水上安全法の講習の様子(2007年)

く、他支部や企業、住民に向けた講習を開いて技術を引き継ぎ、自分たちでライフセービングのボードを作るなど、心強い活動を展開しています」。日本からの支援が、スリランカの持続的な活動でさらに大きな花を開かせています。

日赤による直接的な復興支援は今回終了しましたが、スリランカ赤十字社と国際赤十字が活動を引き継いでいくことになっています。

シリア

政府軍と市民間の武力衝突続く

ICRCとシリア赤新月社が人道支援

「1日2時間の停戦で負傷者の手当てや助けを求める人への援助が可能になる。われわれは全関係者が停戦に応じることを求める」——反体制派への武力弾圧が続くシリアで、赤十字国際委員会(ICRC)と同国赤新月社が負傷者救助や食料支援などを展開しています。ICRCのケレンベルガー総裁も2011年6月以降、シリアを3回訪問。人道支援拡大を政府に認めさせるなど、取り組みを強めています。

人道支援の拡大で政府と合意

2010年末から2011年にかけて、中東や北アフリカで民主化を求める市民が連鎖的に立ち上がった「アラブの春」。シリアでもアサド政権の退陣を求める抗議活動が繰り返されました。しかし、政府側はこうした動きに武力で対抗。多くの市民が死傷する事態となっています。

シリア赤新月社はICRCの協力を得ながら、負傷者の応急手当てや救急車の派遣、避難する市民への手助け、食料や毛布の配付などの人道支援を実施。また、シリア赤新月社の活動が妨げられないよう、ICRCは政府当局および反政府勢力との交渉にも力を入れています。

戦闘激化に伴い、ICRCは支援物資を届けることができる唯一の国際機関となっています。しかし活動が妨害されるケースは少なくありません。3月には支援物資を積



昼夜を問わず救護にあたるボランティア

んだトラックと救急車が、政府軍制圧地区への進入を拒まれる事態も発生しました。

4月上旬にシリア入りしたケレンベルガー総裁は複数の政府高官と交渉。負傷者救護のための時間停戦を具体化していくことと併せ、収容所に拘束されている反政府活動家らとの面会についても確認。ICRCは同月5日、「人道支援活動の拡大で政府と合意した」との声明を発表しました。

昭憲皇太后基金

第91回支援事業決定

教育支援、保健衛生など5カ国の事業に890万円

今から100年前に誕生した昭憲皇太后基金。毎年、主に開発途上国の赤十字社が取り組む事業を対象に、運用利息からの配分を行っています。基金管理合同委員会(ジュネーブ)は昭憲皇太后の命日に当たる4月11日、アゼルバイジャンなど5カ国の赤十字社・赤新月社に対し、合計約890万円を今年度分として配分することを発表しました。

支援対象の国と事業内容は次のとおりです。(関連記事4-5面)

●アゼルバイジャン赤新月社(ヨーロッパ) 貧困地域の子どもたちが、十分な教育の機会を得られるよう、保護者を対象に教育の大切さを啓発……約221万円



ボランティアの養成による保健衛生と救急法の普及事業(ツバル赤十字社・2010年)

●メキシコ赤十字社(中南米) 気候変動の影響により心配されている胃腸の病気や皮膚病、呼吸器疾患などの発生と蔓延を予防する事業を学校や地域で展開……約99万円

●セネガル赤十字社(アフリカ) 女性の生活水準の向上に向けた「訓練センター」を建設。調理や小規模投資(マイクロファイナンス)事業、救急法、性感染症に関する研修などを実施……約220万円

●トリニダード・トバゴ赤十字社(中南米) 災害時の迅速かつ適切な対応や、公的機関との協力関係の強化・拡大を目的とするビデオ会議システムを同国赤十字社に設置……約169万円

●チュニジア赤新月社(アフリカ) 血液事業の体制強化と、新たな献血者を増やすための若年層への啓発活動として、大学における献血実施のパイロット事業を展開……約177万円